

エクアドル（2023 年度）

- ・ [国・地域別情報トップページへ](#)
- ・ [各国・地域情勢](#)
- ・ [在エクアドル日本国大使館](#)

1. 2021 年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. 日本語教育略史

1.2021 年度日本語教育機関調査結果

機関数	教師数	学習者数								
		合計	初等教育		中等教育		高等教育		その他教育機関	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
4	20	225	0	0.0%	0	0.0%	70	31.1%	155	68.9%

（注）2021 年度日本語教育機関調査は、2021 年 9 月～2022 年 6 月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

1990 年にサンフランシスコ・デ・キト大学で日本語教育（公開講座）が始まった。
また、1992 年より JICA からキト・カトリカ大学に JICA 海外協力隊の日本語教師が派遣され、その後、JICA 海外協力隊の日本語教師は帰国したが、直接契約の日本人教師によって 2024 年 3 月時点も日本語講座（公開講座）が開講されている。

一方、1996 年よりグアヤキル・カトリカ大学にも、JICA 海外協力隊の日本語教師が派遣され、公開講座として日本語が教えられていたが、2024 年 3 月時点は閉講している。

また、2002 年 1 月よりグアヤキルのエスピリトゥ・サント大学の言語学部内に日本語コース（公開講座）が設置されており、2020 年 7 月まで講座が行われていたが、コロナによる日本語教師不在により一時的に閉講していた。2023 年から日本語教師派遣が再開し 2024 年 3 月時点まで講座が開講されている。1996 年にマナビ州に設立されたマナビ・カトリカ大学では、2004 年 11 月に第二外国語としての日本語コースを新設し、JICA

海外協力隊の日本語教師 1 名が 2004 年 9 月から 2006 年 9 月まで派遣された。しかし、2024 年 3 月現在、同日本語コースは閉講している。

また、パシフィック大学も 2005 年 4 月に日本語講座（公開講座）を開設した（2024 年 3 月時点は休講）。

2009 年 6 月には、国内初の日本語学校 FUJINO が元 JICA 海外協力隊の日本語教師によってキト市内に開校され、2024 年 3 月時点、キト市、グアヤキル市、クエンカ市で日本語コースが開講されている。また全国にむけて、オンラインでの日本語講座が開講されており国内の学習者が受講中。

2011 年 10 月に、トゥングラウワ州のアンバト技術大学に日本語コースが開講。その後教師不足により一時閉講となったのち 2015 年 10 月より再び開講されていたが、コロナの影響で 2020 年 10 月以降再び閉講となっている。

2014 年にアスアイ州のクエンカ大学で日本語コースが開講（平成 26 年度より 3 年間 JF 日本語普及活動助成を受ける。）されたが、2024 年 3 月時点で、コースは開講されていない。

2016 年 4 月にはインバブラ州のヤチャイ大学で日本語クラブが設置され、そこで日本語授業が行われていたが、2024 年 3 月時点でクラブの活動は実施されていない。

特徴

- キト・カトリカ大学、サンフランシスコ・デ・キト大学、及びエスピリトゥ・サント大学において、日本語は各大学の学生以外も受講できるよう公開講座となっているが、正規学生にとっては外国語の選択科目のひとつであり、卒業単位を取得できる。開講しているのは主に初級と中級レベルで、教師は直接契約の日本人教師である。
- 日本からの移民受け入れなどの歴史がないため、日系人を対象とする日本語教育（継承語教育）機関はないが、在留邦人の子どもに対し、エクアドルの二大都市であるキト市、グアヤキル市の日本人学校補習校において毎週土曜日に日本語の授業が日本人のボランティア、父兄によって実施されている。

最新動向

2024 年 3 月現在、高等教育の機関数は 3 機関で、教師数は 3 名、学習者数は 120 名。語学学校（学校教育以外）における教師数は 10 名、学習者数は 100 名。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

2024 年 3 月時点、キト・カトリカ大学で開講されているのは初級コースと中級コース。ひとつのレベルの授業時間数は 80 時間。月曜から金曜まで授業が行われる（場合によっては土曜日のみの授業も行われる）。毎日 1 時間のレギュラー・コースと毎日 2 時間の集中コースに加え、毎日 3 時間の夏期集中コースと冬期集中コースが

ある。毎日 3 時間の夏期・冬期集中コースの場合、約 5 週間で一つのレベルが修了し、毎日 2 時間の集中コースは 2 か月で一つのレベルが修了し、毎日 1 時間のレギュラー・コースは一つのレベルを修了するのに 4 か月かかる。ただし、開講されるコースは受講者数と受講者のレベルによって毎回異なる。

2024 年 3 月現在開講されているのはレベル 1 から 3 までで学習者総数は 70 名。同大学では、関西外国語大学と交換留学協定を締結しており、1 対 1 の交換留学制度が成り立っている。毎年キト・カトリカ大学の学生 1 名が日本に留学し、関西外国語大学の学生 1 名を受け入れていたが、コロナ禍の影響によりここ数年交流が途絶えてしまっている。エスピリトゥ・サント大学では、レベル 1 からレベル 4 までのコースを設けている。公開講座でもあり、国際関係学部の学生の選択必修科目の一つとなっている。2024 年 3 月時点での学習者総数は 30 名。90 分から 120 分の授業が週 4 回行われ、合計 48 時間で一つのレベルが修了する。なお、同大学は関西外国語大学と交換留学協定を締結している。この交換留学制度により、毎年、エスピリトゥ・サント大学の学生 1 名が日本に留学しているが（枠は 2 名）、2020 年以降の派遣はコロナの影響で中止になっていたが、2023 年エスピリトゥ・サント大学から関西外国語大学へ学生が 1 名交換留学制度に参加した。

アンバト技術大学においては、2015 年 10 月より、大学に籍を置く学生を対象としたレギュラー・コースと並行して、学外からも受講生を募集するオープン・コースのプログラムも始動した。それにより、日本語学習者は高校生から一般社会人まで、年齢や経歴などを含めたさまざまな背景を持った学生が受講できていた。2020 年当時は、A1・A2・B1・B1+のレベルに分かれて学習しており、授業は 1 コマ 2 時間を週 8 時間行い、総授業時間は春セメスターと秋セメスターによって多少変わるが、概ね 160 時間前後となっていた。また、レギュラー・コースを受講している同大学の学生は、外国語の単位を A1・A2・B1・B1+の 4 レベルすべて取得することが卒業条件となっており、一度履修した言語は B1+まで継続しなければならなかった。1 セメスターで 1 レベルを修了するため、日本語学習を始めた学生は最短 2 年分の履修が必要であり、ある程度の長期的な学習計画が可能であった。しかし、2024 年 3 月時点では日本語教師が契約されておらず、日本語コースは閉講中である。

サンフランシスコ・デ・キト大学は一時、日本語コースが閉講状態であったが、2024 年 3 月時点では直接契約の日本人教師によってコースが開講されている。外国語の選択科目である日本語講座は、公開講座として同大学以外の学習者の受け入れも行っている。2021 年にカリキュラムが改訂され、開講されている初級・中級コースは、それぞれ 2 つのレベルで構成されている。いずれも週に 4 日、毎回 80 分の授業が行われる集中コースである。1 レベルの授業時間数は 35 時間、約 4 か月の一学期内に 2 つのレベルを修了する。2024 年 3 月時点での学習者総数は 20 名。同大学は関西外国語大学と留学協定を締結しており、夏学期を利用して短期留学する学習者もいる。また、同大学は、日本語学習を通じて日本文化普及活動に注力しており、日本文化に親しむことを目的とした「りゅう祭」が 2022 年より開催されている。5 日間にわたる文化祭は、毎年一般公開され、日本語学習者の増加に追い風となっている。

学校教育以外

2010 年 11 月、元 JICA 海外協力隊の日本語教師によって国内で初めての日本語学校「FUJINO JAPONÉS」が開校された。初級から上級までの授業があり、現在 2024 年 3 月時点で開講されているクラスは初級、中級と上級。コースは月曜日から土曜日に 1 日 1 時間から 4 時間のレッスンを対面授業とオンライン授業で実施している。年齢制限はなく、幅広い年齢層に向けて授業を行っている。学習者数は 100 名程度である。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

10-3 制。

旧制度の就学前教育機関 kinder1 年間（5 歳）と初等教育機関 Escuela Primaria 6 年間（6～12 歳）と前期中等教育機関 Ciclo Basico 3 年間（13～15 歳）を合わせた Escuela Basica（エスクエラ・バシカ）の 10 年間は義務教育期間。後期中等教育機関 Ciclo Diversificado が 3 年間（16～18 歳）で専門学校の Instituto も中等教育に含まれる。高等教育機関は大学、ポリテクニカの 2 種類。

教育行政

初等、中等、高等教育機関のほとんどが文部省の管轄下にある。

言語事情

公用語はスペイン語である。

外国語教育

小学校 1 年生（エスクエラ・バシカ 1 年生）から第一外国語（必修）として英語が教えられている。英語以外の外国語については各教育機関によって必修・選択の言語が異なる。

バイリンガル幼稚園がいくつか存在し、私立の学校では、英語の早期教育を行っている。またキト市には、ほかにも英国、米国、ドイツ、フランス、オーストラリア、カナダ、イタリアなどの国際校があり、それぞれの母国語、英語の教育を行っている。

外国語の中での日本語の人気

日本のテレビアニメが人気であり、アニメから日本語に関心を持つ子ども、若者が多く、日本語学習に関心を持つ者は増えつつある。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

- キト・カトリカ大学
オリジナル教科書『もしも日本語が話せたら』潮田ちせ（キト・カトリカ大学） 副教材→『日本語かな入門スペイン語版』国際交流基金日本語国際センター（凡人社）、『BASIC KANJI BOOK VOL1、2』加納千恵子ほか（凡人社）
- エスピリトゥ・サント大学
『初級日本語げんき 1、2』坂野永理（ジャパンタイムズ）
- アンバト技術大学
『みんなの日本語初級 I』スリーエーネットワーク／編著
『まるごと 日本のことばと文化(A1 入門・初級 A2、初級 A2/B1 初中級)かつどう』独立行政法人国際交流基金 （三修社）
『Los Silabarios japoneses Kana Guía Fácil y Divertida para Aprender a Leer y Escribir en Japonés』フェルナンデス・モニカ www.monigo.com
- サンフランシスコ・デ・キト大学
『初級日本語げんき 1』坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子（ジャパンタイムズ）『初級日本語げんき 2』坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子（ジャパンタイムズ） ※視聴覚教材も同様

学校教育以外

『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）、『BASIC KANJI BOOK VOL1、2』加納千恵子ほか（凡人社）、『日本語かな入門スペイン語版』国際交流基金日本語国際センター（凡人社）、『まるごと 日本のことばと文化(A1 入門・初級 A2、初級 A2/B1 初中級)かつどう』独立行政法人国際交流基金 （三修社）、『DVD で学ぶ日本語 エリンが挑戦 にほんごできます』国際交流基金日本語国際センター（凡人社）

IT・視聴覚機材

大使館が貸し出している日本紹介 DVD（ジャパン・ビデオ・トピックス）を授業に用いている機関がある。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

キト・カトリカ大学で日本語教師に求められる条件は、修士課程修了（もしくは修了見込みまたは同等の資格があること）、日本語教員養成課程を修了していること、年齢 50 歳以下、スペイン語で日常生活、仕事をするの

に支障のないことであるが、実際は全条件を満たす教師を確保する事は困難である。

アンバト技術大学では日本語教育または言語学における修士課程以上を卒業していること、日本語教員養成課程を修了していることが求められるが、実際は全条件を満たす教師を確保する事が困難なため、臨機応変に契約している。

サンフランシスコ・デ・キト大学では修士課程修了（もしくは修了見込みまたは同等の資格があること）

学校教育以外

JICA 海外協力隊の元日本語教師が日本語学校を開校し、教師を務めている。そのほかに適切な教育を受けたエクアドル人も教師を務めており JF の海外日本語教師長期研修（2011 年 9 月）と海外日本教師短期研修（2020 年 1 月）に参加した。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムは確認されていない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

キト・カトリカ大学では 2024 年 3 月現在、同大学との直接契約により日本人 1 名が教師を務めている。

アンバト技術大学では 2013 年まで、同大学との直接契約により日本人 1 名が教師を務めていた。その後 2015 年より日本語コースが再び開講され、日本人教師が 1 名勤務していたが、2020 年 6 月に任期が終了し帰国、2020 年 10 月以降再開講している。

エスピリトゥ・サント大学では関西外国語大学との日本語教員インターンシップ協定により日本語教師が 1 名派遣されている。

サンフランシスコ・デ・キト大学では 2024 年 3 月現在、同大学との直接契約により日本人 1 名が教師を務めている。

教師研修

大学内の教育者対象の定期セミナーや各種講座、不定期の言語学、外国語教授法などの研修があるが、特に現職の日本語教師対象の研修はない。

現職教師研修プログラム（一覧）

（現職の日本語教師対象の研修はない。）

6. 教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

2016 年にエクアドル JLPT 日本語教師会設立。エクアドル国内外におけるネットワーク構築、セミナーや研修

などの企画を行っている。

[教師会・学会一覧へ](#)

最新動向

- 2017 年 1 月、10 月に JF サンパウロ日本文化センター日本語専門家による「第一回教師研修会」が実施された
- 2017 年 10 月 サンパウロ日本文化センター日本語専門家により「第二回教師研修会」が実施された
- 2017 年 9 月 「第三回スペイン語圏日本語教育連絡協議会」エクアドル代表参加する
- 2018 年 9 月 「第四回スペイン語圏日本語教育連絡協議会」エクアドル代表参加する
- 2018 年 7 月-12 月 「エクアドル、コロンビア、ベネズエラ三か国合同川柳俳句コンテスト」が実施された
- 2018 年 10 月 日本エクアドル外交関係樹立百周年事業の一つとして、エクアドル JLPT 日本語教師会主催「全国日本語プレゼンテーション大会」が実施された
- 2019 年 9 月 「第五回スペイン語圏日本語教育連絡協議会」エクアドル代表参加する
- 2020 年 10 月「第六回スペイン語圏日本語教育連絡協議会」エクアドル代表参加する
- 2023 年 11 月「日本語教育シンポジウム 日本語教師研究会（リマ）エクアドル代表参加する

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

（情報なし）

8.日本語教育略史

1990 年

サンフランシスコ・デ・キト大学にて日本語教育（公開講座）開始

1992 年

キト・カトリカ大学に青年海外協力隊の日本語教師派遣開始。

2024 年 3 月現在も直接契約の日本人教師により、日本語講座（公開講座）開講

1996 年	グアヤキル・カトリカ大学に青年海外協力隊の日本語教師派遣開始(2024年3月現在閉講)
2002 年	グアヤキルのエスピリトゥ・サント大学の言語学部に日本語コース(公開講座)開講 2024年3月現在も日本語教員インターンシップ協定により日本語教師が派遣され日本語講座開講
2004 年	マナビ・カトリカ大学にて日本語コース(第二外国語)新設(2024年3月現在閉講)
2005 年	パシフィック大学にて日本語講座(2024年3月現在休講)
2009 年	国内初の日本語学校 FUJINO 開講
2011 年	アンバト技術大学外国語学部(現外国語センター)にて日本語コース新設
2013 年	アンバト技術大学外国語学部(現外国語センター)にて日本語コース閉講
2014 年	日本語学校 FUJINO オンラインでの日本語講座を新設
2014 年	クエンカ大学 日本語コース新設(2024年3月現在は閉鎖)
2015 年	アンバト技術大学(現外国語センター)にて日本語コース再開講(2024年3月現在は一時的に閉講中)
2016 年	エクアドル JLPT 日本語教師会設立
2016 年	ヤチャイ大学 日本語コース新設 (2024年3月現在は閉鎖)